



# 人材不足とタイの日本語学校の役割

## Lighthouse Info Service Co.,ltd. 代表取締役 バンコク日本博代表 長谷川 卓夫様

### 卓話者紹介

### 木宮 雅徳会員

Lighthouse Info Service Co.,ltd. 設立、在校生450名の日本語学校および年間500名の日本留学生を送り出すタイ最大の日本留学エージェントを運営。留学および就職支援に長年注力していますが、一方で、日本紹介イベント「バンコク日本博」の主催者代表として日本や日本文化を紹介するプロモーション活動、および日タイの友好および親善にも力を入れています。

日本が人材不足に陥り、外国人労働者の受け入れを増やすようになったことで「日本語教育」の重要性に目が向けられるようになりました。更に、タイを含めて東南アジアを新しい市場として捉えて進出する企業が増えていることで、我々のような海外にある日本語学校の役割も重くなってきていると考えています。

タイには大学が100校あり、そのうちの40の大学に日本語学科が設置されています。11年前から大学の入試の選択言語科目に中国語、フランス語と並んで日本語が導入されたこともあり、高校レベルでも多くの学校が日本語を教えています。これだけ日本語に対する関心を持っている国ではありますが、少しずつその状態は減退傾向にあります。

日本語教師不足も深刻な問題です。日本語教師としてタイで働く日本人の平均給与は約10万円、タイで暮らしていけない額ではないですが、魅力的な仕事とは言えません。この水準はシンガポールと香港を除くすべてのアジア圏で同じような傾向があります。そのため、アジアでは慢性的に教師不足です。地元の人たちが日本語教師となることももちろんありますが、日本語ができるタイ人は一般の企業に勤めるかフリーの通訳になる方が収入が高いため、日本語教師を目指す人は多くはありません。そのため、日本語教師を手配できず、高校や大学で日本語が消滅するケースもあります。我々のような日本語学校も、教師不足のためにクラスを開講できないことがあります。一つの大きな原因は、授業料を高く設定できないことです。

一方で、日系企業からは日本語ができるタイ人、人材へのニーズは相変わらず高く、企業側としては慢性的な日本語人材不足です。従来はタイに進出している企業は製造業が中心でしたが、今ではタイ人へ商品売り込む企業が多数進出してきています。これらの企業からも日本語スキルが求められています。

この問題を解決するためには、日本語教育機関と日本語人材を必要とする企業とが連携をして人材育成にあたる必要性があると考えています。

当社では日本語教育、日本留学支援と併せて、「バンコク日本博」という大規模な日本関連の総合展示会を開催しています。ここでは10万人の日本に関心を持つタイ人が来場し、留学や就職ブースで将来を考えると共に、日本への旅行、食、さまざまな商品を紹介することで日本への関心を高め、多くのタイ人に日本と関わる仕事につくことを含めて考えてもらう働きかけをしています。

### 閉会点鐘

奥山 聡会長

### 出席報告

張 碧華会員

会員数	35名	ゲスト	1名
出席数	21名	ビジター	1名
欠席数	14名	7/25修正	88.46%

### 今後の予定

- 8/29 「ミネラルの話 パート2」  
食品と暮らしの安全基金代表 小若 順一様
- 9/ 5 「イニシエーションスピーチ」木村良成会員
- 9/12 会員卓話
- 9/19 「演題未定」司法書士 前沢 和彦様
- 9/26 オープン例会
- 10/ 3 「演題未定」元米山奨学生 李 炫湊様
- 10/10 「演題未定」大須賀かおり様
- 10/17 休会
- 10/24 ガバナー公式訪問
- 10/31 夜間例会

創立/1993年10月13日(平成5年)  
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2  
グラントマゾン九段906号  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp  
http://tokyo-orc.jp/

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
会長 奥山聡 幹事 山下憲男  
会報委員長: 高山 副委員長: 小田  
委員: 青木 岩佐 笠原 俣野 岡田